

かみふらの 議会だより

第 91 号

2016年7月25日発行
発行 上富良野町議会



第2回定例会を6月21日から22日の2日間開催し、各会計の補正予算などを審議し可決しました。
また、7名の議員が町長・教育長へ町の問題点について質問をしました。

後藤画伯日本画 財産の無償貸付 議案を可決

後藤純男氏から寄贈の日本画

「(株)後藤美術研究所」へ無償貸付

日本画家後藤氏より寄贈された本画136点及び素描235点を「(株)後藤美術研究所」が、①絵画を適正に管理できること、②管理運営会社の経済活動の継続と展示等を円滑に行うことができ、上富良野町の地域振興に寄与することができること

の判断から、後藤画伯の日本画を無償貸付する議案が提案され、審議の結果、賛成多数で可決しました。日本画の所有権は町、著作権は本人となります。

無償貸付の期間は、平成28年6月22日から平成29年3月31日まで。なお、町又は無償貸付の相手方が貸付期間満了の6か月前までに契約を更新しないとの通知をしない場合は、更に1年間契約を更新することになります。



寄贈作品の目録を手にする町長と後藤画伯の妻・恂子さん

おしえて!!

『所有権と著作権の違い』ってな～に？

所有権とは、特定のものを自由に使用・収益・処分することのできる権利のことをいいます。

また、著作権とは、著作物が自己の著作物の複製・発刊・翻訳・興行・上映・放送などに関し、独占的に支配し利益をうける排他的な権利をいいます。著作権は、著作物の創作によって発生するので、権利を得るため、特許権や商標権のように出願を行って審査を経る必要がありません。原則として作者の死後50年間存続します。

補正予算

一般会計補正予算を可決

平成27年度決算確定に伴う繰越金及び平成27年度特別会計決算確定に伴う繰入金の補正、西保育所及び各認定こども園入所者確定に伴う補正、公営住宅南団地解体費用の増額をしました。また、地域おこし協力隊(ジオパーク専門員)増員に伴う補正、社会保障・税番号システム整備に係る補正などの提案がされ、総額を73億1千624万8千円とする補正予算を審議し、可決しました。

質疑

地域おこし協力隊の任用

問 地域おこし協力隊のジオパーク専門員は、どのような要素で採用されたのか。

答 本年度前より研究者の情報サイトを通じて募集を行い、2名の方から募集がありました。それぞれ大学の人文地理学と自然地理学の博士課程に籍を置いておられる方で、2人の力を活用しながら、ジオパークの推進を図りたく、2名の採用としました。

泉町南団地の周辺整備

問 泉町南団地の外構工事が未着工のため、水たまりができて異臭を放っている。今年度の整備の見直しは。

答 2号棟の解体を9月以降に着工し、あわせて整地などを行っていきます。

各特別会計の

補正予算を可決

国民健康保険特別会計の補正は、平成27年度決算に伴う繰越金の補正、平成30年度からの国民健康保険改革に伴うシステム改修費の補正、介護保険特別会計の補正は、平成27年度決算に伴う繰越金の補正、音楽健康システム整備(加速化交付金)事業の実施に伴う補正、公共下水道事業特別会計の補正は、平成27年度決算に伴う繰越金の補正、事業経営戦略策定に伴う補正など、特別会計補正予算6件、町立病院事業会計を原案通り可決しました。

■ 6月補正予算の状況 ■

会計名		補正額	総予算額	
一般会計		1億9158万4千円	73億1624万8千円	
特別会計	国民健康保険	2162万7千円	15億9794万8千円	
	後期高齢者医療	25万1千円	1億3499万1千円	
	介護保険事業	2257万4千円	8億7609万5千円	
	ラベンダーハイツ事業	5万円	3億822万6千円	
	簡易水道事業	68万1千円	1億1082万4千円	
	公共下水道事業	831万9千円	4億1421万円	
企業会計	病院事業	収益的支出	160万円	9億1243万5千円
		資本的支出	18万円	3603万4千円

財産

消防ポンプ車を更新

現在、第2分団で使用している消防ポンプ車の老朽化のため、指名入札により、札幌市東区の田井自動車工業株式会社から、3千67万2千円で更新を行います。平成29年1月31日までが納期となります。



現在使用の消防ポンプ車

除雪トラックを更新

防衛省の補助を受け、除雪トラックを指名入札により、旭川市永山の北海道日野自動車株式会社旭川支店から、4千298万4千円で更新を行います。平成29年5月31日までが納期となります。



現在使用の除雪トラック

条
例

保育事業所等の設備運営に
関する条例の一部改正

「家庭的保育事業等の設備運営に関する基準」の一部を、4階以上の階で、避難用階段は「バルコニー又は外に向かつて開くことができる窓若しくは排煙設備を有する付室を通じて連絡すること」を「バルコニー又は付室を通じて連絡すること」に改正し、平成28年6月1日より適用されます。

人
事

人権擁護委員候補者に西川秋雄さんを推薦する議案が提出され、全員賛成で適任と答申しました。



西川 秋雄さん（新）
大町2丁目

意見書を国などに
提出しました

地方財政の充実・強化を
求める意見書

地方自治体は、公共サービス需要に応じて果たすべき役割が複雑かつ多岐に渡り変化、拡大する中で、人口減少対策を含む地方版総合戦略の策定・実行など、重大な政策課題に直面しています。

先の行財政改革により職員が著しく減少している状況では、新たなニーズや重要課題等への対応は困難な状況となっています。公共サービスを担うには、十分な職員の確保を進めこれに見合う財源を確保する必要があります。

社会保障と地方財政を二大ターゲットとした歳出削減にむけた議論が加速し、特に、今年度から開始された「トップランナー方式」の導入は、民間委託やサービスの縮小をはじめ、横並びの行財政運営を前提とした地方交付税算定に繋がり地方分権や地方財政全体の強制的な縮小が危惧されるため地方財政の充実と強化を求める意見書です。

第3回臨時会（4月25日開催）

平成28年度一般会計補正予算を可決

第2回臨時会（3月29日開催）で可決された、地方創生加速化交付金事業補正予算は、平成28年度に繰越し実施する事業のため、予算計上していた「地域リソース活性化プロジェクト」の地域産業人材育成アカデミー事業費他7件、「多世代指向健康づくりまちプロジェクト」の健康づくり指導事業他4件、「十勝岳ジオパーク構想推進事業」のジオパーク構想推進体制構築事業他1件、以上15件の事業を既決予算総額71億2千500万円から歳入歳出それぞれ33万6千円を減額し、総額を71億2千466万4千円としました。

第4回臨時会（5月30日開催）

平成28年度ラベンダーハイツ事業

特別会計補正予算を可決

平成27年度決算で、収入総額2億6千227万円、支出総額2億8千111万9千円で、1千884万9千円の赤字となります。

要因は、介護報酬の減額改定による（▲2.27%）通所・短期入所の各利用者の減少等が重なったためであり、平成28年度より31年度（4か年度）にて赤字の解消を目指します。

①介護体制の効率化、②維持管理費の効率化、③給水ポンプ更新整備の見送り等々、今後の改善計画を協議し、既決予算額に歳入歳出それぞれ1千884万9千円を追加し、総額3億817万6千円とすることを賛成多数により可決しました。

ズバリ ここが聞きたい！ 一般質問

一般質問とは、定例会において議員が住民の声や自身の考えなどをもとに町部局に対して行財政全般の考え方や疑問を問うことです。執行機関に所信を問い、事実を質すことにより、公正な行政を確保しようとするものです。

議会だよりではスペースの都合上、質問と答弁を要約して掲載しています。詳細は、後日、行政ホームページに掲載します。

議場では臨場感のあるやり取りを傍聴することができますので、ぜひ、議場へお越しください。



ページ	質問議員	質問事項
6	村上 和子 議員	① 空家対策として解体費用の一部負担等の補助施策や空家バンクの設置を ② 公営住宅の管理について、指定管理者制度導入を考えてはどうか
7	高松 克年 議員	① 農業振興の実践プランの中で酪農畜産の計画実践の方向性と、今後の支援対応について ② 障がい者に対してより一層の支援を
8	荒生 博一 議員	① 防災対策について ② 商業振興策について
9	中澤 良隆 議員	① 認知症患者の現状と予防対策について ② 2015 介護保険法改正に伴う取り組み状況について
10	今村 辰義 議員	① 電力の自由化に伴う町の取り組みについて ② 町内河川流域の樹木伐採について
11	米沢 義英 議員	① 特別養護老人ホームについて ② 地域支援事業について ③ 観光振興について ④ 道の駅について ⑤ 西小学校のグラウンドの整備について ⑥ 上富良野中学校校舎の改築について
12	中瀬 実 議員	① 見晴台公園の今後の方向について ② 日の出公園の駐車場について



— 村上 和子 議員 —

空き家対策として解体費の一部負担と利活用を
解体費の一部負担考えない、

利活用はニーズ支援（町長）

環境



上富良野町のホームページ

村上議員 昨年6月、空き家実態調査必要の質問に対し、実態調査とアンケートを取られた。一番多いのが解体したいが費用がなく、できないとの回答で、その中には危険な空き家が4件ある。

昨年、特別措置法が施行され、周辺住民に迷惑がかかる場合は自治体が行政執行でき、この4件は早急に対処が必要では。他の自治体では、行政が解体費用を立て替え、後で返還等の施策をしている。他の空き家の実態は、

地元業者を使用し、更地に家を建てる等条件を設け、解体費の一部補助の考えは。

向山町長 住民会長の協力を得て調査実施した。経過観察要20件、危険4件、その他40件、空き家は個人の財産のため、自身の責任で解体費の一部補助施策は考えていない。

村上議員 空き家の利活用は。

向山町長 福祉スペース利活用等利用者のニーズに結びつける支援を考えている。

指定管理者制度導入の考えは、

管理

公営住宅の管理に

指定管理者者制度導入の考えは

公住には導入しないが

効率が図られる手法を導入する（町長）

村上議員

指定管理者制度を導入し、6か所を3法人でやっているが、10年以上経過しており、29年3月31日付で期限も切れる。この機会に見直しも必要では。

公の施設に民間事業の手法を活用することで、管理に要する費用の削減が出来ると考えるが、新たに公営住宅の維持管理等に導入の考えはないか。

向山町長

指定管理者制度そのものは、行政効率を高める意味で有効な手段だと理解している。公営住宅では、札幌等大都市で導入している所もあるが、本町においては、戸数も少なく検討試算もしてみたが、行政効果が期待できない。現状では、

村上議員

公営住宅の維持管理に指定管理者制度を導入する考えはない。

村上議員 今後については、見直しもせず、指定管理者制度の導入もしいという事か。地場産業者の雇用育成も必要と考

え、例として公住等はどうかと提案している。

向山町長

昨年から道路維持管理も指定管理者制度に移行した。行政のスリム化、効率化が図られる手法は積極的に導入したい。



泉町南団地の新しい公営住宅



雇用

— 高松 克年 議員 —

障がい者施設からの調達と町職員雇用は 制度下で優先的・積極的な調達、

雇用に努める（町長）

高松議員 障害者就労施設等からの調達を積極的に取り組むとは。

また、改正障害者雇用促進法の施行で、雇用分野への差別的扱いが禁止されたが、今後町は雇用をどのように行うのか。

向山町長 障害者就労施設からの調達等は、4事業所から157万円となつている。物品、役務との仲介機能をしつかり果たしていく。

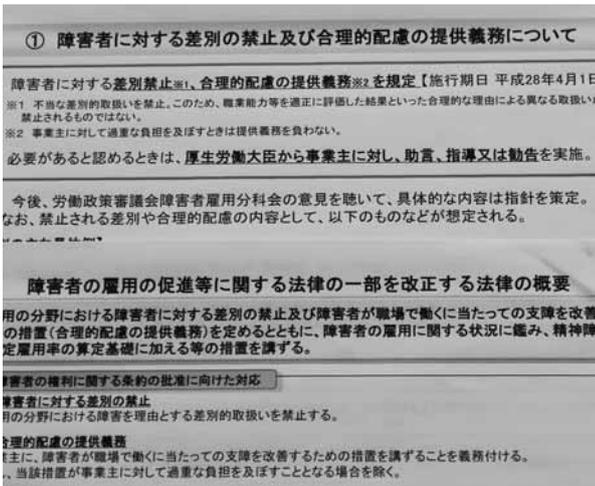
町職員の障害者雇用率は、2.3%を求められている。

るが、現在2名で1.2%となり、法定雇用率は満たしていない。

高松議員 物品の納入も町からニーズを作り出す必要と役務も調整し、提供できないか。

向山町長 情報の共有、意思の疎通を不断に施設の方々と図る。

高松議員 現在1名の欠員があるが、年度途中での採用も可能ではないか。
向山町長 就労を願っている方に対し、柔軟に対応したい。



障害者雇用促進法改正、障害者優先調達推進法

畜産

農業振興実践プランの畜産関連支援を

畜産関連対策に十分配慮し

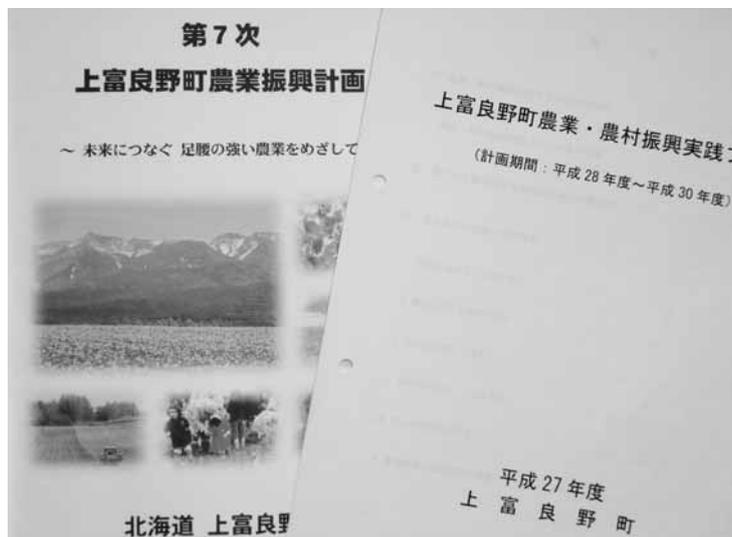
積極的対応を行う（町長）

高松議員 堆肥コントラクターは、バイオガスパラント発電まで考えているのか。

また、生産物の地産地消、食育、流通、利活用の具体的取り組みは。担い手支援としてのコントラ、TMR等の整備、酪農ヘルパー制度も労働軽減作業の効率化に役立つものと思う。人材確保と事業の今後の進め方は。畜産担い手総合整備事業が今年度で終了となるが、29年度に実施の見通しを伺う。

向山町長 堆肥コントラ

は、耕種農家への土づくりの作業負担の分散、畜産農家の厩肥の処理、環境保全を考えたもので、バイオガスパラントの処理までを想定していない。
産業振興課長 地元産物



農業振興計画と農業・農村振興実践プラン

の域内流通は、生産者主体で実施している事業支援を行い、今後は研究という段階で進めたい。

向山町長 コントラ、酪農ヘルパーは、人材確保等課題解決へ向け、実際に経営している畜産、酪農家の意見を受け、仕組みづくりを行いたい。畜産担い手整備事業は、30年度を初年度とし、進めるよう協議をしている。草地更新、施設整備は終わることなく必要と認識している。



— 荒生 博一 議員 —

地震に対しての訓練も必要なのは
更に総合防災訓練の充実を図りたい (町長)

防
災



災害時の避難場所である草分防災センター

荒生議員

十勝岳噴火に

対する備えだけではなく、地震に対しての訓練も必要なのは。

向山町長

本町では、大正泥流を想定した「十勝岳噴火総合防災訓練」を毎年実施している。

地震を想定した訓練実施の提案は、これまで地震による被害は、震度4を記録した平成15年の十勝沖地震時の、簡易水道施設の水源に濁りが生じたという記録が残るのみ

ではあるが、4月に発生した熊本地震の状況から、富良野活断層による地震も無視できない。

提言のように、地震を

想定した訓練も重要なものと受け止めている。個別訓練の実施が望ましいとは思いますが、十勝岳噴火総合防災訓練で実施の災害対策本部の設置や情報伝達、避難所の設置、救助救出訓練などは、様々な災害に共通するため、更なる充実を図りたい。

商 業

商業振興計画をどのように進めていくのか

商工業者の経営基盤の安定と

強化を図る (町長)

荒生議員

商業振興計画の重要項目は何か。また、具体的にどのように進めていくのか。

向山町長

具体的事業としては、本年度からの新規事業である「商工業者持続化補助事業」、また従来の「新規開業・新規展開事業」も制度の改善や見直しを行い、商工業者の皆様の経営基盤の安定・強化に繋がるよう施策を充実し、推進を図っていく。

本計画では、事業の取り組み項目に対し、取り組み主体を定めており、その中の多くの項目で商業者または商工会自らが実施主体になることとなっている。町としても、実施主体と一体となり必要な支援を行う。



セントラルプラザ

また、これらの事業は複数年次にわたって継続していくことも必要と思われ、次期計画へつなぐ

ことも想定し、今後において着実に成果があげられるよう取り組んでいきたい。



介
護

— 中澤 良隆 議員 —

認知症の現状と予防対策は 認知症予防に積極的に取り組む（町長）



楽しく運動、頭の体操「お元気かい」

中澤議員 国は、2025年には高齢者の5人に1人が認知症を患うと推測している。認知症対策は、町でも最重要課題の一つと考えるが、今の町の現状と対策は。

向山町長 平成27年度高齢者実態調査によると認知症の方は372名で、他の町と比べると比較的低い水準にある。

認知症予防の取り組みは、健康づくりや介護予防事業としての生きがいデイサービス、お元気がいなどをやっており、ふまねつなど自主グループの活動も盛んである。認知症対策は、優先課題であり予防等に積極的に取り組む。

中澤議員 認知症の相談窓口は。また、専門職である認知症地域支援推進員配置の考えは。

向山町長 かみんにある「地域包括支援センター」が窓口である。今は推進員の配置は考えていないが、センターの内容を充実させたい。

中澤議員 今回の改正で、要支援1・2の方が利用していた訪問介護と通所介護が市町村の事業になる。市町村間の格差が生まれ、対応がまちまちになると思うが。

また、介護予防・日常生活支援事業の開始時期とスケジュールは。

向山町長 平成29年4月から実施する予定で、準備を進めている。現在、新しい総合事業の素案づくりの協議を関係機関や事業者と進めており、本年秋までに成案をつくり、円滑な移行を目指す。

中澤議員 現在の介護予防サービス利用者は、新制度になっても今まで同様にサービスが受けられるのか。また、利用者の負担は大きく変わるのか。

向山町長 現在の介護予



改正介護保険制度の対策を協議する町の担当者と社協職員

介
護

2015介護保険法改正の取り組み状況は 平成29年4月実施に向けて準備（町長）

今回の改正で、要支援1・2の方が利用していた訪問介護と通所介護が市町村の事業になる。市町村間の格差が生まれ、対応がまちまちになると思うが。

中澤議員 改正介護保険法では、ボランティアや

防サービス利用者は、訪問介護型サービス、通所型サービスを同様に受けられる。利用者負担も大きく変わることはない。

中澤議員 改正介護保険法では、ボランティアやNPOの活用を検討しているが、町の考えは。

向山町長 要支援者の方に効果的で効率的な支援を行うよう、ボランティアやNPOの活用を検討中である。



— 今村 辰義 議員 —

町内河川流域の樹木伐採を

一日も早く伐採が進むよう取り組む (町長)

防
災



富良野川河川内の樹木の繁茂

今村議員

町内河川は、近年河川内の樹木の繁茂と拡大が進行し、流下能力の低下による治水上の問題、繁茂による景観上の問題となっている。

泥流やゲリラ豪雨に対する安心・安全の観点から、富良野川など町内河川流域の樹木伐採等、河川管理者に要望や相談をすべきと考えるが。

向山町長

富良野川では、十勝岳の噴火に伴う泥流や集中豪雨による増水被害も想定され、下流部では

は自然木が生い茂り、景観上好ましくない状況も見受けられる。

これらの状況を踏まえ、町では毎年、振興局や河川管理担当の富良野出張所に要望を行っている。

北海道の予算が非常に厳しいと説明を受けている。

今村議員 十勝岳の噴火周期を考えるとあまり時間がながい。

向山町長 今後も町独自としても要望をし、一日も早く進むよう取り組む。

電力

新電力からの電力調達を

削減の研究を行い方向性を検討する (町長)

今村議員

電力の自由化に伴い、財政面のさらなる創意工夫とコスト削減のためにも、新電力からの電力調達が必要では。

向山町長

本年4月から全面的な電力の自由化がスタートし、一般家庭でも新電力会社から電力を購入できる。割安な電気料金への移行は、公共施設の維持経費の縮減につながるが、研究、検討が必要課題である。

昨年度、役場庁舎他8施設で新電力会社からの見積もりを聴取し、コスト比較を行った。特に契約電力に占める消費電力であらわされる負荷率の低い施設では、一定の削減効果が認められる。

今村議員

フォロー制度等を考慮し、削減効果が認められた施設は、なぜ

28年度から移行しなかったのか。

向山町長

新電力に移行した他の自治体の状況や、新電力会社の業務停止に伴うリスクや、災害時における支援体制を研究し、24時間365日稼働する

負荷率の高い施設や、長期休暇中は電力を使用しない負荷率の低い施設など、施設の特性も考慮し、公共施設としての安定性や緊急時における対応等も含め、方向づけを検討していきたい。



負荷率の低い施設に新電力を



教育

— 米沢 義英 議員 —

西小学校グラウンドの整備を 今後の課題としたい（教育長）



上富良野西小学校グラウンド

米沢議員 西小学校のグラウンドは、雨が止んだ後も水はけがよくなり、雨水がたまるが、今後の対応について伺いたい。
服部教育長 西小学校のグラウンドは、整備後49年目を迎えた。設置時には、排水対策工事が施行されたが、経年により排水状態がよくないため、表面排水対策、排水路整備などの対応してきた。近年では、平成22年度

にボランティア工事に伴って排水工事が行われ、施工より水はけがよくなった。
運動会については、実施日前から降雨が続き、児童の安全と健康面を考慮し、晴れの予想の6月7日に再延期を決定した。グラウンドの排水対策は、教育環境の一層の充実を図る観点から、今後においても課題として捉えている。

町においても、特別養護老人ホームなどの増床や改修などの計画について伺いたい。
向山町長 富良野圏域の介護保険関連施設の整備については、特養、老健、療養型の介護保険施設3施設を含め、グループホームや小規模多機能型居宅介護事業所といった地域密着型サービスのほか、有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅など多様な施設の整備が行われている。
本町においても、住宅



特別養護老人ホーム

介護

特別養護老人ホームの増床計画を 増床計画は持ち合わせていない（町長）

米沢議員 2025年には町の老年人口が3,305人で、高齢化率は31.2%になると予想されている。
町においても、特別養護老人ホームなど、介護施設の一層の充実が求められていると考えるが、

型有料老人ホーム、小規模多機能型居宅介護施設が整備され、それぞれ施設機能は違うが、富良野圏域において、相当数の入所施設が整備され増床となっている状況にある。

このような事態を踏まえ、現在、ラベンダーハイツの増床計画は持ち合わせていない。また、個室型施設への転換は困難と考えている。



— 中瀬 実 議員 —

見晴台公園の今後の方向は

現在の状況では公園の再整備は難しい (町長)

観光



観光の誘導拠点となるべき見晴台公園

中瀬議員

見晴台公園は

平成19年に地域振興を図る目的でオープンした。

町としては、観光拠点として役割を果たすように整備することだが、

現在は情報ステーションとしての案内所はあるが、観光客を呼び込むための機能は果たしていない。

今後、観光客を町内の施設へ誘導する考えはあるのか伺う。

向山町長

見晴台公園から

観光客の誘導だが、町では公園の機能向上を図り、情報発信の拠点とするための検討会議を開催した。

計画を示したところ、内容を大きく修正することになり、誘導拠点として機能を発揮するには限界があり、再整備は難しいと判断しているところである。

観光

日の出公園の駐車場の整備を

日の出公園常設駐車場は

重要と認識している (町長)

中瀬議員

2008年に

農地法一時転用違反が発覚してから今日まで、日の出公園の駐車場問題は解決していない。

2009年度からイベントの時は、キャンプ場東側の離れた場所を一時的に借り、そこから観光客を送迎しているのが実態である。この公園を訪れる観光客に対して、決してやさしい対応とは思われない。

今後、日の出公園駐車場の確保する考えがあるのか伺う。

向山町長

イベントに使用している臨時駐車場は、

来場者の利便性にも劣り、常設駐車場の整備は日の出公園の活用を図る上において、重要であると強く認識している。



早期の常設駐車場が望まれる日の出公園

日の出公園の再生計画

も順調に進んでいることから、一層必要性を感じている。

整備について課題の整理も必要なことから、今後、判断していきたい。

後、判断していきたい。

議会の窓



- 4月25日 第3回臨時会
総務産建常任委員会
厚生文教常任委員会
5月17日 厚生文教常任委員会
議会運営委員会
30日 全員協議会
第4回臨時会
総務産建常任委員会
6月13日 厚生文教常任委員会
14日 総務産建常任委員会
15日 議会運営委員会
16日 全員協議会
総務産建・厚生文教常任委員会
合同委員会協議会
- 21日 議会広報特別委員会
22日 第2回定例会(1日目)
第2回定例会(2日目)
全員協議会
- 23日 議会広報特別委員会
宮城県大和町議会視察来町
弟子屈町議会視察来町
7月5日 全道町村議会議員研修会・
先進事例調査(～6日)
- 6日 土幌町議会視察来町
11日 全員協議会
第5回臨時会
議会広報特別委員会
13日 議会広報特別委員会
秋田県美郷町議会視察来町

◆宮城県大和町議会が 視察来町しました

6月23日に宮城県大和町議会が来町し、「防災対策」、「婚活・恋活について・上富良野アグリパートナー協議会の活動状況」について調査されました。

◆弟子屈町議会が視察来町しました

6月23日に弟子屈町議会が来町し、「特定健診の高受診率に向けた取り組み」について調査されました。

◆全道町村議会議員研修会、 先進地行政調査を行いました

7月5日に開催された全道町村議会議員研修会に議員11名が参加しました。

また、翌6日には洞爺湖町で「ジオパークの取り組み」について調査しました。



◆土幌町議会が視察来町しました

7月6日に土幌町議会が来町し、「放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的な運営」について調査されました。

◆秋田県美郷町議会が 視察来町しました

7月13日に秋田県美郷町議会が来町し、「健康増進事業の取り組み」について調査されました。

議会を傍聴してみませんか？

町議会では年4回、3月・6月・9月・12月に定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開会しています。

議会の傍聴は、最も身近な議会活動に触れることのできる方法です。議会では住民生活にも関わる様々な案件を真剣に審議しています。

また、定例会では議案のほかにも議員が行政(町長や教育長)へ質問をする「一般質問」も行われます。

次の定例会開会予定は…

9月13日(火)・14日(水)です!

※この日程は変更になる場合がありますので、ご確認のうえ、役場3階の議場までお越しください。

お気軽にお越しください。
たくさんの傍聴をお待ちしています!

お問い合わせ

上富良野町議会事務局 電話 ㊟6992

み~つけた!! ☆ぴか☆つと輝くまちのひと



青野 範子 (あおの のりこ) さん
十勝岳温泉 湯元凌雲閣マネージャー
かみふらの十勝岳観光協会副会長
かみふらの十勝岳観光旅館協会会長
十勝岳ジオパーク推進協議会・
観光部会副会長
ご当地カレーエリアネットワーク副会長

上富良野に帰ってきた理由は

平成元年に上富良野町
教育委員会に就職。平成
7年に結婚後、退職して天
塩町へ嫁ぎ、3人の子供
を出産。長男が中学校入
学のタイミングで、平成
25年4月に17年ぶりに故
郷上富良野町に帰ってき
ました。

祖父と父が始め、母・
妹皆と一緒に頑張つて経
営してきた凌雲閣を、今
後永く経営ができるよ
う、祖父の開拓精神を引
き継ぎ、熱い気持ちを持
ち、これまで以上に



今までの取り組みと今後について

一昨年より新しいス
タッフを迎え、調理部門
ではお客様へのお食事メ
ニューの充実を図り、フ
ロント部門ではHPの作
成やフェイスブックでの
情報発信を行い、更には、
インターネットでの予約
販売を行い宿泊客の増加
を図りました。

近年増加傾向にある外
国人観光客に対応するた
め、本年6月よりシンガ
ポール出身のスタッフを
雇用。夏の観光や登山、
バックカントリースキー
等、国内外を問わず、全
てのお客様に充実した
サービスの提供ができる
よう、受け入れ態勢を整
えました。

ひとりごと...

■夏、日差しが強く降りそそぐ今日この頃、
「まち」も観光シーズンへ。遠方より来られ
るお客様が多く見受けられるようになってき
ました。

■観光ボランティアに参加し、もう8年(う
ち1年は入院のため休み)。中でも特に訪れ
る中国の人たちは、以前は徒歩で、徒歩で自
転車でと案内していました。今は即ハイ
ヤーの利用料金は?と聞かれる様変わり。経
済大国中国を「まちの窓口JR駅」にて実感
しています。

■体調は自身が一番よくわかると言われたこ
とがありますが、小さな気付きを感じ取るこ
とができず、また、検査を避け続けた結果、
一年間も手術入院、その後の継続治療と多く
の時間と大切なお金、本人家族の心労を費や
す等々良い点はありません。自身の反省です。
最小の負担で「まち」が実施している各種検
診を積極的に受けることが大切です。

(竹山 記)

議会広報特別委員会	
委員長	米沢 義英
副委員長	高松 克年
委員	北條 隆男
	竹山 正一
	荒生 博一
	中瀬 実